

天草市崎津における文化的景観をめぐる風景の捉え方に関する考察

熊本大学大学院 学生会員 谷本大樹 熊本大学 正会員 田中尚人

1. はじめに

文化的景観は、「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」と定義される。国が選定する重要文化的景観制度は、従来の凍結的な文化財保全と異なり、適切な変化を許容し動態的な景観地の保全を可能とする。集落の土地利用は個人及びコミュニティに任される部分も多く、個人レベル・コミュニティレベルでの保全意識の変容を考慮する必要がある。

文化的景観の保全は、風景への価値づけを軸に、観光
的活用や歴史的環境の保全運動を進める。黒田¹⁾は、「文
化的景観の保全とは何か」という立場から、地域にもた
らした影響を調査し、結果の一つに風景へのまなざし
の変化を挙げた。しかし、個人レベルでの認識に着目し
て研究は進めていない。

本研究の目的は、重要文化的景観に選定された天草市崎津地区において、風景の捉え方の変容を考察することである。そのために、ライフヒストリーの語りから、風景の捉え方の構造を分析した。

2. 風景の捉え方の調査・記述法

(1) 調査手法

谷²⁾はライフヒストリーを「過去から現在に至るまでの時間幅で対象者を捉えることができる」と言及した。語りからは、どこで・何をして・どう感じ・今はどう感じるか、風景の様子や地域の出来事と主体の感情を切り離さず、風景の捉え方の構造を分析できると考えた。

(2) 対象地概要

本研究の対象地である崎津地区は、熊本県天草市の下島南西部に位置し、羊角湾内に位置する。崎津教会をシンボルに、集落全体で独特の漁村景観を有し、現在では観光客が多く訪れる。

3. 風景の位置づけの変遷

本章では、文化的景観の保全プロセスにおける、崎津地区の風景の位置づけの変化を整理した（表-1）。

(1) 風景に関わる政策の変遷

2006 年に世界文化遺産の国内暫定リストに掲載されたことを契機に始まった、風景保全に関する政策の変遷を整理した。

表-1 崎津地区での文化的景観に関わる年表

年	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
地域の出来事	景観法一部改正		天草市合併 に掲載	世界遺産暫定リスト	景観行政団体へ移行			重要文化的景観選定	富津小学校閉校 名称変更	今富地区追加選定・ 名称変更	「明治日本の産業革命遺産」を推薦 「長崎の教会群」 推薦決定	国内推薦候補選定		推薦書取下げ 熊本地震 「長崎と天草」 再推薦・名称変更	河浦高校閉校 再推薦・名称変更	世界遺産一覧表 へ記載	
計画・制度					天草市景観計画		崎津の漁村景観 保存計画書	崎津のランド デザイン	街並み環境整備計画			観光施設整備基本計画 第二次天草市総合計画 天草市都市計画 マスタープラン	崎津・今富の文化的 景観保存計画	天草市まち・ひと・ しごと総合戦略		天草市観光振興アクションプラン	崎津のランド デザイン
住民				●世界遺産を目指す会 →設立総会 ●ボランティアガイド開催				○カケ復元工事				●海岸清掃		●河浦高校ボランティアガイド →河浦中学校へ	ボランティアガイド養成講座		
行政			●住民説明会 ●座談会 ●世界遺産登録推進室設置 地域づくりWS ●職員説明会					●保存調査開始		●全国文化的景観連絡協議会	●世界遺産推進本部設置	●推進室、河浦支所へ移設		●展望広場 ●つどい処まつだ		●よらんかな	
アクション				●文化景観学術検討会（全11回）				●グランドデザインWS		●文化景観整備管理委員会		●観光トイレ	●資料館みなと屋				
				●まち歩きWS						●富津ラボ活動							

(2) 地域における取り組みの変遷

文化的景観保全の取り組みが始まって以降の、地域における取り組みを整理した。

(3) 社会的関心の変遷

新聞記事は社会一般の興味関心を反映するメディアである³⁾。崎津の風景への社会的な興味関心を整理した。崎津の風景は、被写体や芸術作品など、教会を中心に見るものとして取り上げられていた。しかし近年では、生活を体感する場として取り上げられることが増えており、興味関心の対象が集落全体に広がっている。

4. 語りから見る風景の捉え方の構造

本章では、ライフヒストリー調査によって得た語りの主題と構成を整理し、捉え方の構造を分析した。

(1) 調査結果

表-2に、調査対象者を示した。崎津の風景や地域の出来事について、主観的に自由に話せるよう聞き取った。また、風景に対する価値観や考え方についても聞き取った。筆者が質問をする場合には全対象者に共通する項目のみ尋ね、調査は各1～2時間ほど行った。

(2) 語りの構成の分類

呉⁴⁾による風景体験の語りの分類を参考に、話の主題が変わる瞬間を切れ目に、語りの単位として設定した。語りの内容を「空間・風景」「出来事・体験」「評価・意味づけ」の要素に分け、整理した。また主題に対する主体の評価・意味づけの有無、その視点について整理し、語りの叙述構成を分類した（表-3）。

- ・幼少期の風景に対する評価・意味づけは、主体の体験や記憶をもとに、現在との比較で語ることが多い。
- ・風景保全に対する評価・意味づけは、他コミュニティとの比較か、過去の生活経験を基に語ることが多い。

表-2 調査対象者

	年齢	性別	地区	日時	備考
A	70代	男	船津区	2020/11/27	
B	60代	男	地区外	2020/11/28	行政職員として勤務
C	40代	男	地区外	2020/11/28	行政職員（河浦町在住）
D	20代	女	今富地区	2020/11/29	
E	70代	男	中町区	2020/12/1	
F	70代	男	下町区	2020/12/2	
G	70代	男	向江区	2020/12/2	
H	70代	男	船津区	2020/12/2	
I	40代	女	中町区	2020/12/11	
J	40代	男	中町区	2020/12/13	

・主張や演説的な語りは、特定の出来事に対して言及し
ておらず、評価・意味づけに時間的な視点がない。
などの特徴が挙げられた。風景に対する記憶の構造に
ついて、主体の語りを元に分析を進める。

5. 風景の捉え方の変容

最後に、「風景の変遷」と「風景の捉え方の構造」を
もとに、風景の捉え方の変容について考察した。

(1) 評価・意味づけの構造

語りの対象や主題が同じでも、主体の評価や意味づ
けの視点によって、語り方が異なる。評価・意味づけの
構造を分析する。

(2) 風景の捉え方の変容に関する考察

風景の捉え方の変容に個人差が出る要因に、風景の
客体化の有無が考えられる。今後は、個人の経験や記憶
をもとに、意味づけの蓄積に着目して考察する。

参考文献

- 1) 黒田乃生：白川村荻町における文化的景観の保全に関する研究，東京大学農学部演習林報告，2003.
- 2) 谷富夫：ライフヒストリーを学ぶ人のために，世界思想社，1996.
- 3) 渡邉翔太：明治・大正・昭和期の新聞記事にみる江戸城外堀・内堀，法政大学卒業論文，2015.
- 4) 呉宣児：語りからみる原風景 心理学からのアプローチ，萌文社，2001.

表-3 語りのタイプ分類

タイプ	小分類	特徴	例	
			年代	語り
風景回想タイプ	原風景型	崎津の風景について感じたことを回想するような語り。過去に没入し、具体的な体験を基に語る場合が多い。	幼少期 ↓ 現在	結構自然豊かでな、今と違ったいろんな風景があった。例えば今のトウミパンショってところか。マリア像のそばにあったわけ。その辺にね、松の木がこんなに太いのがあって、海水浴とかはみんなそこら飛び込んでたね。昭和40年ぐらいかな、俺たちが帰ってきたときにはなかったね。
	情景型	崎津の風景について感じたことを快走する語り。時間的な視点がない。	ずっと	（崎津の綺麗な瞬間について）今も変わらず、朝露の時とかね。私たちの頃は今みたいに夕日が御光を浴びていなかったもんね。水平線に沈んで行く時なんかね。丸がこう、ちっさくなっていくけんね、そういう景色は。今も変わらねえ。
評価意味づけタイプ	他コミュニティとの比較	体験や情報について、主体なりの評価や感想を述べる語り。「～と思った」などが多い。理由に他地域や他の人の考え方をを用いる。	2010年頃	世界遺産っていう名前はやっぱりね。いっぺん、区長会長として、上五島へ視察に行った時があったとよね。半分市が出して半分個人負担やったかな。上五島まで。その時行った時に感動したのは、上五島は世界遺産になったらんに、以外と町並みが綺麗やったとよね。感動した。これはわれわれが恥かばいって言って。そんなこともあったな。世界遺産になるなら、長崎の教会みんな回らんばって思っ。2010年ぐらい。
	過去との比較	体験や情報について、主体なりの評価や感想を述べる語り。「～と思った」などが多い。理由に主観での記憶を用いることが多い。	2010年以降	市はね、景観的なことを気にするのよね。でもさ、その土地は私たちのものじゃんって。その家の人のものじゃん、変なものを置くわけじゃないんだから。それも自由にできないんだったら、息苦しいよね。特に、教会の近くの家は厳しいよね。それこそ、下町とか船津とかは、中松よりゆるいからね。
演説タイプ		主体の考え方や価値観を演説するような語り。客観性がない。「～すべき」などが多い。	今	今からですね、住民の意識を高めないといけない。もうちょっと誇りを持って。世界さんの価値がみんな理解できれば、自分の地域を誇りに思えるじゃないですか。自分の地域を誇りに思えるっていうことは、大事にしますもんね。ゴミ捨てなくなる。そういう自治能力っていうのが、高まって欲しいなと思う。